

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科：国際学部・グローバル学科

学籍番号：

氏名：

※留学を希望している近畿大学学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか。

☒ 同意する

☐ 同意しない

同意する場合、連絡可能なメールアドレス

留学先国名：ドイツ

留学先都市：ラベンスバーク

留学先大学：DHBW

留学先所属学部：International Business

留学期間：2018年9月～2018年12月

学年（出発時）：3年

帰国報告書提出日：2019年1月10日

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

DHBWは他の大学とは違ったシステムをもっており、1セメスターが3ヶ月で構成されています。更に授業のスケジュールも不定期で、専攻する授業にもよりますが1日に少ない時では3時間（50×3）多い時には8時間（50×8）で1つの科目だけを1日で勉強します。時には1日に自分の履修している2つ以上の授業の開講時間が重なってしまうことがあるので、履修するときには授業のスケジュールを入念に確認して履修登録する必要があります。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

語学面においてドイツで生活する上であまり不自由に感じたことはありません。授業はほぼ英語で開講されており、またドイツ語を学ぶためのクラスも開講されています（ドイツ語開講ですが）ので日常会話やドイツ語の基礎を学ぶことができます。さらに、ドイツ語で書かれた書類やメールについてはすべてインターナショナルセンターのスタッフの方々が親切に

勉強面でのサポート

勉強面のサポートについては特にこれといったサポートはありません。しかし、DHBWでは1日に1つの科目を数時間勉強するので出席する授業への予習と復習を怠ってしまうと、その日1日の授業についていけないという最悪の状況に陥ってしまいます。これといったサポートがないからこそ自主学習がとても大切になってきます。

精神面でのサポート

精神面でのサポートについても、常にインターナショナルセンターのスタッフの方々が親身に話を聞いてくださいます。

生活・住居面でのサポート

生活面においてもインターナショナルセンターのスタッフの方が常に仲介してくださるので、こちらで生活する上で不自由な思いをすることはないと思います。

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

交換留学生が生活するアパートについてはすべてインターナショナルオフィスの方が提供してくださいました。アパートには3種類ありますがどのどのアパートに住みたいなどの意見などは基本受け入れてもらえません。私が住んでいたアパートは8人とキッチンシェアして、バスルームは各階の生徒たちとシェアする形でした。8人6カ国の生徒と常に生活するというのはとても大変なことですが、コミュニケーションを取り合うことはとても大切なことだと思います。日本の文化では受け入れがたいことも、他の国の文化では受け入れてもらえない文化などもあります。

(2) パソコンについて

PCの保有状況：☒日本から持参した ☐現地で購入した ☐保有しなかった

Wi-Fiの有無：☒有 ☐無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

インターネット接続料金やプロバイダーについては全てアパートの家賃に含まれていると思います。

大学でのPCの使用可否：☒使用できた ☐使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

基本的に月曜日から金曜日の朝から夕方19時まで利用可能です。PCが設置されている施設は3カ所ほどありますが、印刷までできる部屋は1カ所、シティーセンターから少し離れた図書館があるのと同じ施設にあります。

(3) 医療について

Health center (大学内施設として)の有無：☐有 ☒無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

留学中に病院などを受診した事がないので医療についてはあまりわかりません。しかし、インターナショナルセンターのスタッフさんに訪ねれば細かい情報を下さると思います。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

ドイツの銀行口座開設は基本的にオンライン開設のみです。またオンラインサイトは基本的にドイツ語で全て表示されているので少し手間がかかります。銀行口座開設後に銀行からの書類を受け取って開設完了となります。日本へ帰国するときには必ず銀行口座を閉じなければなりません。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

ドイツに住んでいますが6カ国からの交換留学生と一緒に暮らすというアパートメントだったのでドイツの文化に触れながらも家に帰れば各国の文化にも触れられるという誰もが経験することができない素晴らしい環境で留学生活をおくることができました。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

大半のドイツ人学生はすでに企業で働いているのでボランティアや課外活などに関してはあまり活発な学校ではありませんでした。大学ではありますが一人一人がとても独立していて年齢は変わりませんが社会人である多くの生徒と授業を受けたり、グループワークやディスカッションをすることで多くの刺激をもらう事ができました。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

DHBWがあるラベンスバークは大変静かで安全で平和な街です。落ち着いた環境の中で勉強に集中できる環境が整っていると思います。小さくて高齢者の多いまちなので英語を理解してくれる人の数はそれほど多くはありませんが、分からない事を訪ねれば親切に答えてくれる人が多いです。観光客が来るような場所ではないのでドイツ以外の国からの人を目にする

3. 後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報 (HP や出版物等) を記入してください。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

ドイツの冬は大変寒いので小さめの毛布など持参できる範囲でもって来ることができればいいと思います。布団や枕などは全て用意してありますがそれだけでは寒いと感じる時があるかもしれないので膝掛けなどがちょうど良いと思います。またアパートのなかで履き古せるようなスリッパやルームソックスも役に立ちます。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称 _____ 点（級）

留学後－資格試験名称 _____ 点（級）

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

私の場合、ビザなしでドイツに滞在できる90日を超える滞在を予定していたのでVISAを取得しなければならませんでした。最低限必要な書類などは日本で用意しておくことが出来ますが、銀行口座の証明などはドイツで銀行口座開設してからしか受けとることの出来ない書類なので早めに手続きをすませておくスムーズにVISAを取得できると思います。しかし

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

クラスの人数については科目によって異なりますが、交換留学生のみで構成されている授業とドイツ人学生との授業と2種類ありますが最大でも40人ほどのクラスです。成績評価は大変厳しく、一日に5時間ほどの授業で1つの科目を勉強するので一度欠席してしまうと大きく成績に影響してしまいます。また学期末試験では日本とは全く異なった試験方式なのでテストで高得点をとるための勉強では落胆してしまいます。自主学習も大切ですがそれ以上に授業に出席して内容を完璧に理解出来なければ学期末テストで苦戦してしまうと思いま

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

留学中の経験や努力したことなどをリフレクションに書き留めることを心がけていました。リフレクションに書き留めておくことで自己分析にもつながり、留学中の反省点や目標を明確にすることができると思います。またOffer boxで自分の経験をアピールすることで興味を示してくれた企業に目を通して自分の興味のある企業を探しました。またすでに企業で働いている多くのドイツ人学生からアドバイスをもらうこともできます。

4. 費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート： 135円

(2) 航空運賃： 15万円（片道）

(3) 住居費（月額）： 4万5000円 × 留学期間月数 3 カ月 = 13万5千円

(4) 食費（月額）： 4万 × 留学期間月数 3 カ月 = 12万円

(5) 保険料： 5万円

(6) その他： _____

(7) 留学費用の合計： 50万円

5. その他 自由に記入してください。

6. 留学先大学のキャンパス等、思い出に残る写真をぜひ添付して送信してください。